町田市

Machida City Flood and Landslide Hazard Map
町田市洪水・土砂灾害防灾地图
마치다시홍수・토사 재해 해저드 맵

洪水・土砂災害ハザードマップ

町田地区
Machida Area
町田地区
마치다 지구

旭町、玉川学園、中町、原町田、東玉川学園、
藤の台、本町田、南大谷、森野

このハザードマップは大雨などにより、町田市内を流れる各河川の氾濫や雨水管からの浸水が予測される区域、土砂災害が発生した場合に被害を受ける恐れのある区域及び風水害時の避難施設等を示している地図です。
普段から自宅や周辺地域の危険な場所、避難施設の場所等を確認しておくことが重要です。
このハザードマップを活用し、避難行動に役立ててください。

浸水や土砂災害が予測される区域はあくまでも目安となります。実際には雨の降り方や様々な状況により、ハザードマップの予想通り浸水や土砂災害が発生するとは限りません。大雨の際には、各機関から発信される情報の収集に努め、早めの避難行動を心掛けてください。

This hazard map identifies areas that are susceptible to the dangers of rivers and/or storm drains in Machida City overflowing and flooding during heavy rains, areas that are susceptible to damage from landslides, and the locations of evacuation facilities when there is storm or flood damage.
It is vital to confirm places that could be dangerous near your home and in surrounding areas, as well as to identify the locations of evacuation facilities. Please do so on a regular basis and use this hazard map to help you evacuate safely.

The areas at risk from flooding and landslides indicated on the map are only a guideline. Depending on how heavy the rains are and other conditions, flooding and landslides may not occur as predicted on this hazard map. When heavy rains come, be sure to collect information from various organizations and evacuate as soon as possible.

本防灾地图预测显示了因暴雨等导致流经町田市内的各条河川泛滥或从雨水管道浸水的区域、发生土砂灾害时可能受灾的区域以及风灾水害时的避难设施等。
平时确认住宅及周边地区的危险场所及避难设施位置非常重要。
请灵活使用本防灾地图，以便用于避难行动。

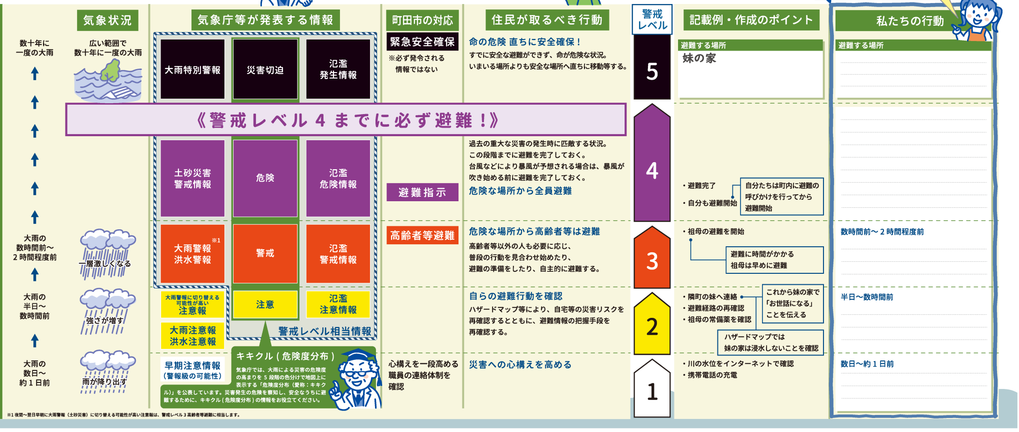
预测的浸水和土砂灾害地区仅供参考。受降雨情况及各种因素影响，防灾地图所标注的受灾地区实际未必会受到浸水或土砂灾害。
大雨期间，请实时留意各机构发布的信息，并及早做好避难准备。

이 재해 예측도(해저드 맵)는 큰비 등으로 인해 마치다시 내를 흐르는 각 하천의 범람이나 우수관을 통한 침수가 예측되는 구역, 토사 재해가 발생한 경우에 피해를 입을 우려가 있는 구역 및 풍수해 시의 대피 시설 등을 나타낸 지도입니다.
평상시부터 자택이나 주변 지역의 위험한 장소, 대피 시설의 장소 등을 확인해 두는 것이 중요합니다. 이 재해 예측 도를 활용하여 대피 행동에 도움이 되도록 하십시오.

침수나 토사 재해가 예측되는 구역은 어디까지나 대략적인 기준입니다. 실제로는 비가 내리는 형태나 다양한 상황에 따 라 재해 예측도의 예상대로 침수나 토사 재해가 발생한다고는 할 수 없습니다. 큰비가 내릴 때는 각 기관에서 발신하는 정보를 수집하는 데 노력 하고, 신속한 대피 행동을 유념해 주십시오.

2024 年 3 月発行

マイ・タイムライン


気象庁等が発表する情報と警戒レベル、それにマイ・タイムラインの考え方を時系列でまとめたものがこれじゃ。
災害時に慌てないように、今から「そのとき」に備えよう！
記載例を参考に、いつ・何をするかを家族で話し合って、
今のうちに自分たちの行動を書き出そう！

防災行政無線、ラジオ、テレビ、町田市メール配信サービス、インターネットなどで情報を発信します。
市民の皆様は、できるだけ多くの手段で情報収集をしてください。

	気象状況	気象庁等が発表する情報			町田市の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル	記載例・作成のポイント	私たちの行動
数十年に一度の大雨	広い範囲で数十年に一度の大雨	大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5	避難する場所 妹の家	避難する場所
《警戒レベル 4 までに必ず避難！》									
		土砂災害警戒情報	危険	氾濫危険情報	避難指示	過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。 この段階までに避難を完了しておく。 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。 危険な場所から全員避難	4	・避難完了 ・自分も避難開始 自分たちは町内に避難の呼びかけを行ってから避難開始	
大雨の数時間前～2 時間程度前	一層激しくなる	大雨警報 洪水警報※1	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3	・祖母の避難を開始 避難に時間がかかる祖母は早めに避難	数時間前～ 2 時間程度前
大雨の半日～数時間前	強さが増す	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報	注意	氾濫注意情報		自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。	2	・隣町の妹へ連絡 ・避難経路の再確認 ・祖母の常備薬を確認 これから妹の家で「お世話になる」ことを伝える ハザードマップでは妹の家は浸水しないことを確認	半日～数時間前
大雨の数日～約 1 日前	雨が降り出す	早期注意情報（警報級の可能性）			心構えを一段高める職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1	・川の水位をインターネットで確認 ・携帯電話の充電	数日～約 1 日前

警戒レベル相当情報

キキクル（危険度分布）
気象庁では、大雨による災害の危険度の高まりを 5 段階の色分けで地図上に表示する「危険度分布（愛称：キキクル)」を公表しています。災害発生の危険を察知し、安全なうちに避難するために、キキクル（危険度分布）の情報をお役立てください。

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル 3 高齢者等避難に相当します。

避難行動とは

避難って、
避難施設に行けばいいんでしょ？

ちがうのじゃ！
「避難行動」とは、
命を守るための行動すべてを指すのじゃ！

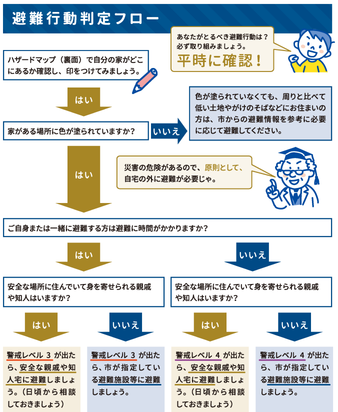
- 避難施設への避難 → 避難行動
- 親戚・知人宅、ホテル・旅館等の安全な場所への避難 → 避難行動
- 建物内において、より安全な部屋への移動 → 避難行動

様々な状況から、自分の判断で
適切な「避難行動」をとるのじゃ。

「自らの命は自らが守る」
意識を持つことが大事なのね。

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？
必ず取り組みましょう。
平時に確認！

ハザードマップ（裏面）で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

↓ はい

家がある場所に色が塗られていますか？ → いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

↓ はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要じゃ。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

↓ はい: 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
- はい → 警戒レベル 3 が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）
- いいえ → 警戒レベル 3 が出たら、市が指定している避難施設等に避難しましょう。

↓ いいえ: 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
- はい → 警戒レベル 4 が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）
- いいえ → 警戒レベル 4 が出たら、市が指定している避難施設等に避難しましょう。

防災気象情報

防災気象情報とは？

気象等の注意報・警報・特別警報の種類と内容

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって災害が発生するおそれのあるときに「注意報」を、重大な災害が発生するおそれのあるときに「警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけます。気象庁が発表する主な注意報・警報の種類と内容については、次のとおりです。

種類		内容
注意報	大雨注意報	大雨注意報は、大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。雨が止んでも、土砂災害等のおそれが残っている場合には発表が継続されます。
	洪水注意報	洪水注意報は、河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水により洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。対象となる洪水災害として、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられます。
警報	大雨警報	大雨警報は、大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨警報（土砂災害)」､「大雨警報（浸水害)」又は「大雨警報（土砂災害、浸水害)」のように発表されます。雨が止んでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表が継続されます。
	洪水警報	洪水警報は、河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。対象となる重大な洪水災害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられます。
記録的短時間大雨情報		数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに、発表される情報です。現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために発表されます。

大雨特別警報とは

大雨特別警報とは、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。「特別警報」が発表されたら、命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保してください。

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに気象庁と都道府県が共同で発表する情報で、地方自治体の行う避難指示等の防災対応の判断や、住民の自主的な避難行動の判断等の参考としていただくことを目的としています。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、可能な限り早めの避難を心がけるとともに、町田市からの避難情報等に注意してください。

土砂災害情報

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

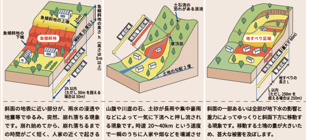
土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域は、土砂災害防止法※に基づいて調査を行い、指定・告示された区域です。
※正式名称 「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）
土砂災害が発生した場合に、みなさんの生命または身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域です。
災害の恐れが高まった場合には避難施設が開設されます。ハザードマップを参考に避難の方法を考えておきましょう。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）
土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、みなさんの生命または身体に著しい危害が生ずる恐れがあると認められている区域です。また、特定の開発に許可が必要な場合や、建築物の構造に規制がかかる場合があります。

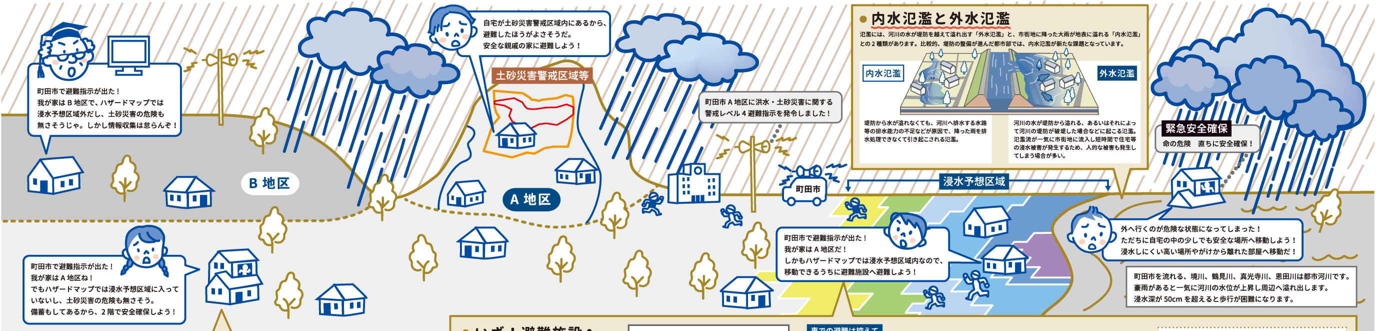
土砂災害の種類

土砂災害の発生原因となる自然現象として、急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりがあり、以下のような特徴があります。
また、土砂災害が発生するときには、多くの場合、何らかの前兆現象が現れます。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難しましょう。



災害	急傾斜地の崩壊	土石流	地すべり
現象	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象です。崩れ始めてから、崩れ落ちるまでの時間がごく短く、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、人命を奪うことの多い災害です。	山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速 20～40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。移動する土塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。 ※町田市内には地すべりを現象とする土砂災害警戒区域等の指定はありません。
前兆現象	・がけにひび割れができる ・小石がパラパラと落ちてくる ・がけから水が湧き出る ・湧き水が止まる ・湧き水が濁る ・地鳴りがする	・山鳴りがする ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ・腐った土の匂いがする ・雨が降り続いているのに川の水位が下がる ・立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる	・地面がひび割れたり陥没したりする ・がけや斜面から水が噴き出す ・井戸や沢の水が濁る ・地鳴り・山鳴りがする ・樹木が傾く ・亀裂や段差が発生する

上記の前兆現象はあくまで一般的なものです。これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合もあります。
少しでも危険と判断したら早めに自主避難をしましょう。


町田市で避難指示が出た！
我が家は B 地区で、ハザードマップでは浸水予想区域外だし、土砂災害の危険も無さそうじゃ。しかし情報収集は怠らんぞ！
B 地区
自宅が土砂災害警戒区域内にあるから、避難したほうがよさそうだ。
安全な親戚の家に避難しよう！
土砂災害警戒区域等
A 地区
町田市 A 地区に洪水・土砂災害に関する警戒レベル 4 避難指示を発令しました！
町田市
浸水予想区域
町田市で避難指示が出た！
我が家は A 地区ね！
でもハザードマップでは浸水予想区域に入っていないし、土砂災害の危険も無さそう。
備蓄もしてあるから、2 階で安全確保しよう！
町田市で避難指示が出た！
我が家は A 地区だ！
しかもハザードマップでは浸水予想区域内なので、移動できるうちに避難施設へ避難しよう！
緊急安全確保
命の危険　直ちに安全確保！
外へ行くのが危険な状態になってしまった！
ただちに自宅の中の少しでも安全な場所へ移動しよう！
浸水しにくい高い場所やがけから離れた部屋へ移動だ！
内水氾濫
外水氾濫

内水氾濫と外水氾濫

氾濫には、河川の水が堤防を越えて溢れ出す「外水氾濫」と、市街地に降った大雨が地表に溢れる「内水氾濫」との 2 種類があります。比較的、堤防の整備が進んだ都市部では、内水氾濫が新たな課題となっています。

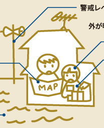
内水氾濫
堤防から水が溢れなくても、河川へ排水する水路等の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できなくて引き起こされる氾濫。

外水氾濫
河川の水が堤防から溢れる、あるいはそれによって河川の堤防が破堤した場合などに起こる氾濫。氾濫流が一気に市街地に流入し短時間で住宅等の浸水被害が発生するため、人的な被害も発生してしまう場合が多い。

町田市を流れる、境川、鶴見川、真光寺川、恩田川は都市河川です。
豪雨があると一気に河川の水位が上昇し周辺へ溢れ出します。
浸水深が 50cm を超えると歩行が困難になります。

よし！屋内安全確保

様々な状況から判断して、自宅のより安全な場所（2階など）で待機することも「避難行動」です。


警戒レベル、避難指示などの発令状況
外が明るいか（夜間の外出は非常に危険）
家族の健康状態
備蓄品の量
自宅が浸水予想区域や土砂災害警戒区域等に入っているか
避難施設までの距離
浸水が始まっているか
MAP

地下室・半地下室からの退避
地下室では、屋外の様子はわかりません。大雨注意報・大雨警報が発表されるなど、浸水の恐れが出てきた場合は地下室の使用を控えてください。水が流れこむと水圧でドアが開かず脱出できなくなります。

いざ！避難施設へ

避難施設へ向かう経路は安全ですか？
移動中にも危険が伴います。万全の注意を！

感染症等が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

避難経路の確認を
土砂災害警戒区域等の危険な箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。
また、家庭や地域で話し合いながら、事前に避難経路を確認しましょう。

冠水しているときは足元に注意
冠水している道では足元がどうなっているかよく見えません。歩き慣れた道であっても、マンホールの蓋が外れて吸い込まれるかもしれません。
やむを得ず冠水している道を通る際は、杖のような棒を持って、足元が大丈夫か確認しながら避難しましょう。

車での避難は控えて
交通渋滞の原因や緊急車両の妨げになるので、車での避難は控えましょう。
水の溜まったアンダーパスは水深がわからないため、進入するとエンストし閉じ込められる可能性があります。

土砂災害にも注意
長時間雨が降り続いている場合には土砂災害に注意しましょう。
外出する際には、がけ地に近づかないようにしましょう。

他にも…
- ■ 強風の中の避難は危険です。早めに避難を
- ■ アンダーパスに気を付けて
- ■ 動きやすい格好、二人以上での避難
- ■ 避難行動要支援者※の避難にご協力を
  ※高齢者・障がい者・病気やけがをしている方等

ペットと避難するために
避難施設で受け入れることのできるペットは、家庭等で飼育している犬や猫、小型の哺乳類や鳥類です。
飼育スペースは、原則、人の居住スペースとは別とします。（ただし、盲導犬・聴導犬・介助犬は除く）

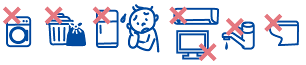
飼い主が責任をもって管理しなきゃね！
ケージやペットフードなども準備しておこう。

日頃からの準備

日頃からの準備って、
パンと水があればいいかな？

ちがうのじゃ！
パンと水は確かに大事じゃが、
他にもたくさんあるのじゃ！

もし、電気や水道、ガスが止まったら…



境川・鶴見川沿いでは最大 24 時間、恩田川沿いで最大 72 時間浸水が続く可能性があります。
※東京都が作成している各河川の洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）より

ライフラインの復旧に
長時間かかってしまうこともあるのね！
必ず避難施設に行けるとは限らないし、
準備をしておくことが大事なのね！

家の周りや集水口の点検も大事じゃ！
今、できることをしておくのじゃ！

やっておけばよかった…！ …にならないために、今できることはなんだろう。

確認！　避難施設や避難経路
点検！　家の周りの様子や状況
整備！　道路の側溝や集水口
準備！　土のうや排水ポンプ
参加！　自主防災訓練

日頃から避難行動要支援者へ気配りを！

防災マップも確認しましょう。
風水害時と地震災害時では使用できる避難施設は異なります。
地震災害時の避難施設は町田市防災マップをご確認ください。

備えよう！非常持ち出し品

避難施設で数日を過ごす可能性もあります。持ち出し品を準備し、避難施設へ持参しましょう。

- ■ 飲料水、食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
- ■ 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
- ■ 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- ■ ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手
- ■ 懐中電灯、充電式ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器
- ■ 衣類、下着、毛布、タオル
- ■ 洗面用具、使い捨てカイロ、
  ウェットティッシュ、簡易トイレ

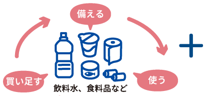
※感染症が流行している際は
マスク・消毒液・体温計を
忘れないようにしましょう。

※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・
ほ乳びんなども用意しておきましょう。

いまからできる！備蓄品

自宅で生き抜くには備蓄品が必要です。日頃から自宅で利用しているものを
少し多めに備えることで、災害時に自宅で当面の間、生活することが可能となります。

ローリングストック法



＋

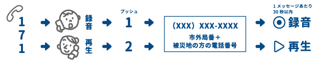
災害時に特に必要なもの
- ■ カセットコンロ
- ■ ラテックス手袋
- ■ 充電式ラジオ
- ■ 懐中電灯
- ■ 携帯電話の予備バッテリー
- ■ 簡易トイレ

トイレを流せない？
飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。お風呂の水を捨てずに張っておくだけでも、備えになります。

その他の情報

ＮＴＴ東日本 災害用伝言ダイヤル「171」

災害発生時の安否確認には、災害用伝言ダイヤル「171」を使いましょう。



【詳しい利用方法】 https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/

災害用伝言板（web171）

災害等の発生時、被災地（避難施設等含む）の住居者がインターネットを経由して災害用伝言板（web171）にアクセスし、電話番号をキーとして伝言情報（テキスト）を登録できます。
登録された伝言情報は電話番号をキーとして全国（海外含む）から確認し、追加の伝言を登録することが可能です。登録したメッセージを通知することもできます。

【詳しい利用方法】https://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171s/shikumi.html

携帯電話・スマートフォン災害用伝言サービス

■ NTT ドコモ
http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
docomo 災害　検索

■ au
http://dengon.ezweb.ne.jp/
au 災害　検索

■ ソフトバンクモバイル
■ ワイ・モバイル
http://dengon.softbank.ne.jp/
softbank 災害　検索

災害が発生したら

道路の冠水、家屋の床上・床下浸水、がけ崩れなどの被害が発生したときは、
速やかに連絡してください。

■ 町田市役所	042-722-3111（代表番号）	■ 町田警察署	042-722-0110
■ 町田消防署	042-794-0119	■ 南大沢警察署	042-653-0110

大雨等に関する情報の収集先

■ 町田市気象情報
http://www.micosfit.jp/machida/

■ 東京都水防災総合情報システム
https://www.kasen-suibo.metro.tokyo.lg.jp/im/uryosuii/tsim0102g.html

■ 気象庁 HP　キキクル（危険度分布）
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:4/lat:38.822591/lon:139.042969/colordepth:normal/elements:land

■ 神奈川県 雨量水位情報
https://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/

町田市からの情報伝達

町田市役所 → 市民のみなさん

防災行政無線放送・防災行政無線フリーダイヤル　☎0800-800-5181
市民のみなさんへお伝えすべき重要な情報及び J–ALERT による国からの情報等を放送します。また、防災行政無線フリーダイヤルで、放送した内容を電話で確認できます。通話料はかかりません。

町田市メール配信サービス・LINE
防災行政無線で放送した情報や、町田市の気象警報に関する情報等をメール・LINE で配信します。
登録はこちら　スマートフォン用　携帯電話用

町田市ホームページ　https://www.city.machida.tokyo.jp/
市民のみなさんへお伝えすべき重要な情報について、町田市ホームページに掲載します。

報道機関等への放送依頼
市民のみなさんへお伝えすべき重要な情報について、報道機関等へ放送を依頼します。
市が協定を締結している報道機関等
ＦＭヨコハマ（84.7MHz）
ＦＭＨＯＴ 839（83.9MHz）
ヤフー
イッツ・コミュニケーションズ
ジェイコムせたまち
多摩テレビ

SNS
町田市公式 twitter　@machidatokyo
町田市公式 Facebook　https://www.facebook.com/machidatokyo/

その他　広報紙　広報車　代表電話